

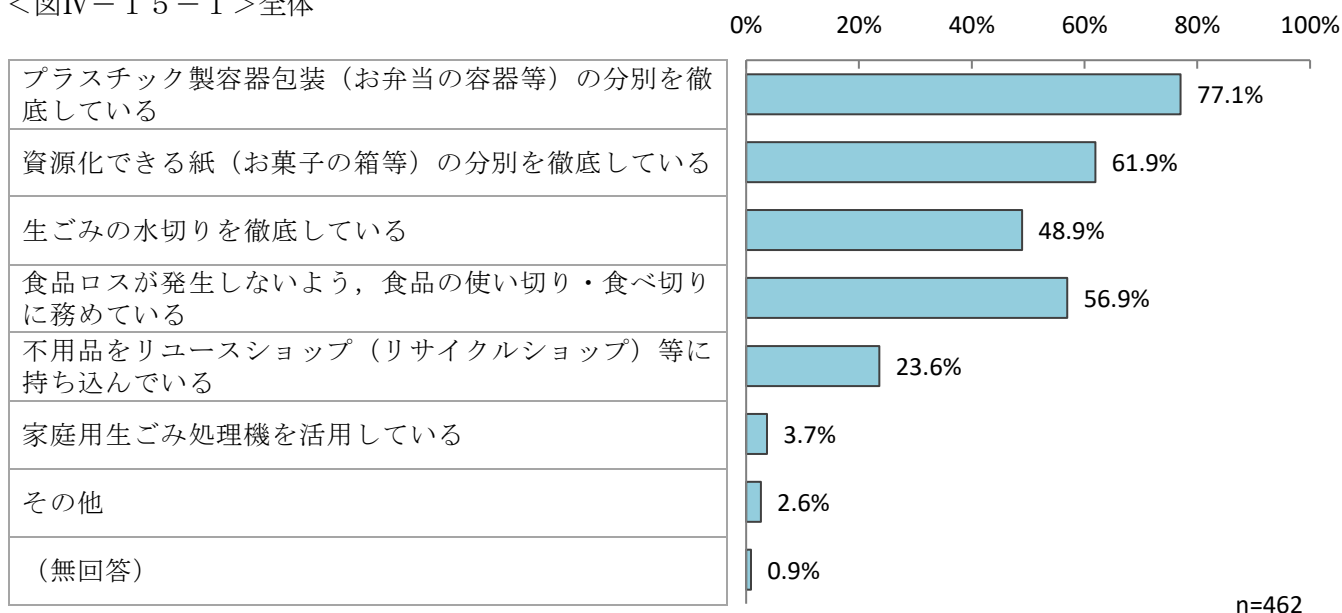
15. 焼却ごみ削減の取組について

(1) 焼却ごみ削減のため実施した取組

◇「プラスチック製容器包装（お弁当の容器等）の分別を徹底している」が8割弱

問51	あなたは、焼却ごみの削減のため、どのような取組を実施していますか。（〇はいくつでも）	n=462
1	プラスチック製容器包装（お弁当の容器等）の分別を徹底している	77.1%
2	資源化できる紙（お菓子の箱等）の分別を徹底している	61.9%
3	生ごみの水切りを徹底している	48.9%
4	食品ロスが発生しないよう、食品の使い切り・食べ切りに務めている	56.9%
5	不用品をリユースショップ（リサイクルショップ）等に持ち込んでいる	23.6%
6	家庭用生ごみ処理機を活用している	3.7%
7	その他	2.6%
	（無回答）	0.9%

<図IV-15-1>全体



焼却ごみ削減のため実施している取組については、「プラスチック製容器包装（お弁当の容器等）の分別を徹底している」が77.1%で最も高く、次いで「資源化できる紙（お菓子の箱等）の分別を徹底している」が61.9%、「食品ロスが発生しないよう、食品の使い切り・食べ切りに務めている」が56.9%と続いた。（図IV-15-1）

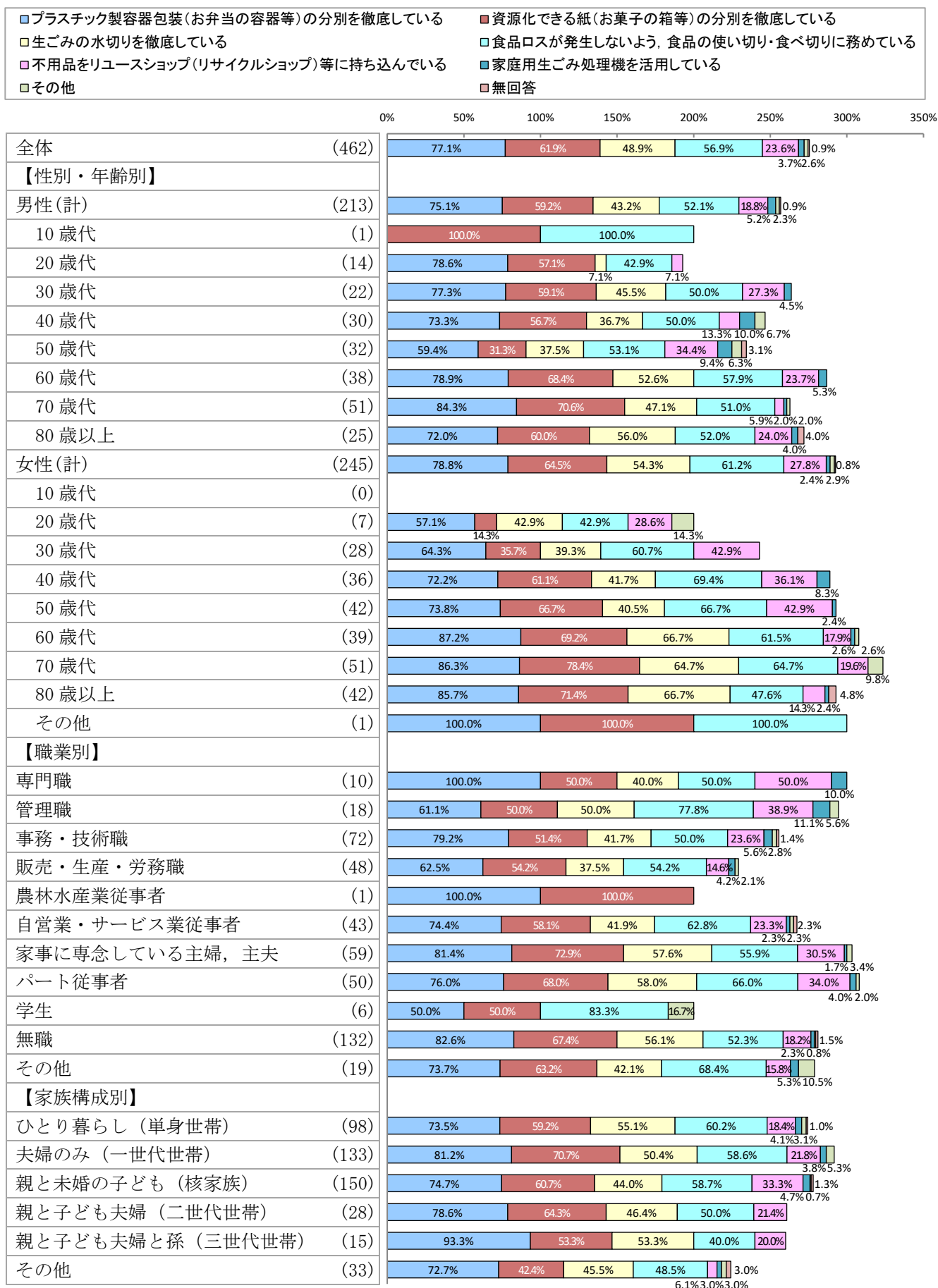
<参考>

性別・年齢別でみると、「プラスチック製容器包装（お弁当の容器等）の分別を徹底している」は<その他>を除くと、<女性60歳代>が87.2%で最も高く、次いで<女性70歳代>が86.3%であった。（図IV-15-2）

職業別でみると、「プラスチック製容器包装（お弁当の容器等）の分別を徹底している」は<専門職><農林水産業従事者>がいずれも100.0%、<無職>が82.6%であった。（図IV-15-2）

家族構成別でみると、「プラスチック製容器包装（お弁当の容器等）の分別を徹底している」は<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が93.3%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世代世帯）>が81.2%であった。（図IV-15-2）

<図Ⅳ－１５－２>性別・年齢別／職業別／家族構成別

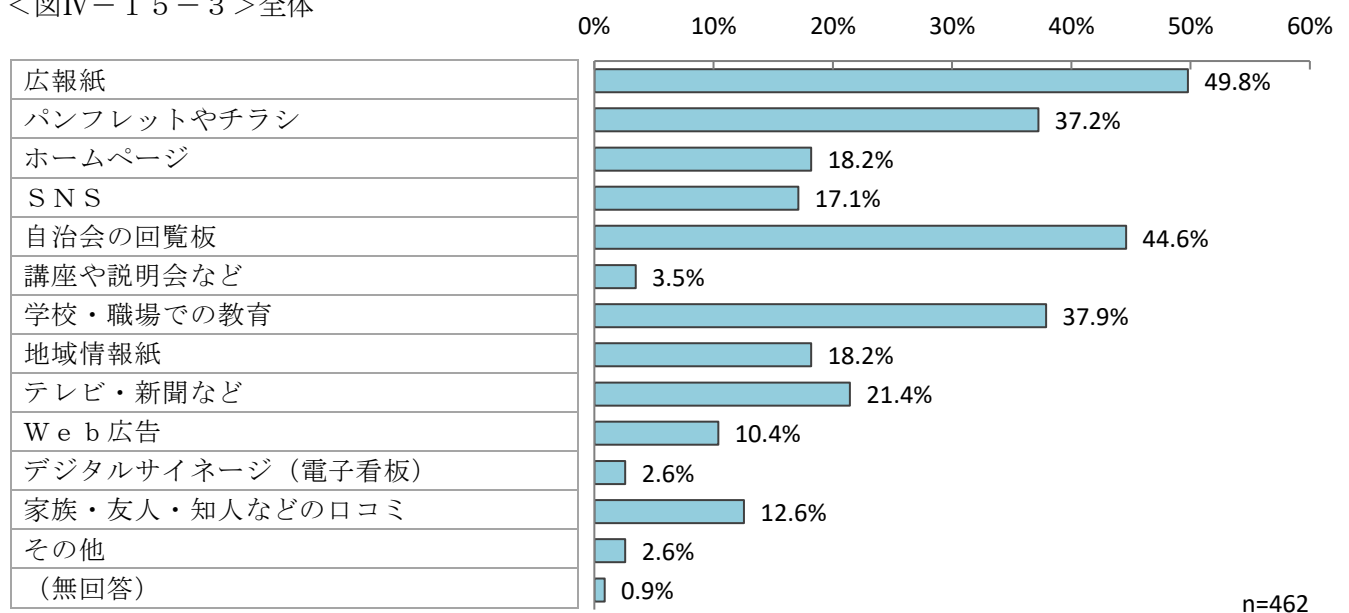


(2) 焼却ごみ削減や資源物の分別の周知方法として有効な取組

◇「広報紙」が約5割

問 5 2 焼却ごみの削減や資源物の分別の周知方法として、有効な取組はどれだと思いますか。 (〇はいくつでも)		
		n=462
1	広報紙	49.8%
2	パンフレットやチラシ	37.2%
3	ホームページ	18.2%
4	S N S	17.1%
5	自治会の回覧板	44.6%
6	講座や説明会など	3.5%
7	学校・職場での教育	37.9%
8	地域情報紙	18.2%
9	テレビ・新聞など	21.4%
10	W e b 広告	10.4%
11	デジタルサイネージ（電子看板）	2.6%
12	家族・友人・知人などの口コミ	12.6%
13	その他	2.6%
	(無回答)	0.9%

<図IV-15-3>全体



焼却ごみの削減や資源物の分別の周知方法として有効な取組については、1位が「広報紙」で49.8%、2位「自治会の回覧板」が44.6%、3位「学校・職場での教育」が37.9%、4位「パンフレットやチラシ」が37.2%、5位「テレビ・新聞など」が21.4%であった。（図IV-15-3）

<参考>

性別・年齢別でみると、「広報紙」は<その他>を除くと、<男性 80 歳以上>が68.0%で最も高く、次いで<男性 70 歳代>が64.7%であった。（図IV-15-4）

職業別でみると、「広報紙」は<その他>を除くと、<農林水産業従事者>が100.0%、<無職>が59.8%であった。（図IV-15-4）

家族構成別でみると、「広報紙」は<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が73.3%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世代世帯）>が56.4%であった。（図IV-15-4）

<図IV－１５－４>性別・年齢別／職業別／家族構成別

